

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会]
(令和2年3月解析分)

1 今月のトピックス

(1) マダニ等による感染症に注意しましょう！！

マダニやツツガムシの活動が活発になる春から秋にかけて、マダニ等が媒介する感染症が多く発生しています。農作業やレジャーなどで、草むらや藪に入るときには、長袖、長ズボンの着用、忌避剤の使用等によりマダニ等に咬まれないよう注意しましょう。

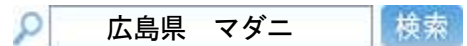
マダニ等が媒介する感染症に関する、潜伏期間や症状の特徴等については次表のとおりです。



フタトゲチマダニ

疾病名	潜伏期間	症 状		発生状況	
		初期症状	特 徴	H30 年	H31 年
重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)	6～14 日		消化器症状：食欲不振，嘔気，嘔吐，腹痛，下痢，下血 その他の症状：頭痛，筋肉痛，神経症状（意識障害，けいれん，こん睡），リンパ節腫脹，呼吸器症状（咳など），出血症状（紫斑）	10	7
日本紅斑熱	2～8 日	倦怠感 悪寒 急な発熱 (38～40℃)	発疹：発熱の後にやや遅れて，四肢や体幹部に米粒大や小豆大の紅斑（痛み・かゆみはないが手のひらにも出現） 刺し口：腹部や背部，外陰部，大腿部など隠れた部分にある場合が多い（「かさぶた」を形成するが，ツツガムシの刺し口ほど大きくない）	41	67
つが虫病	5～14 日		発疹：発熱後，顔面や体幹部に米粒大の紅斑（痛み・かゆみはない） 刺し口：臀部，外陰部，大腿部や腹部など，皮膚の柔らかい隠れた部分にある場合が多い（特徴的な「かさぶた」を形成）	27	19

詳しい情報は、広島県のホームページをご覧ください。



(2) 梅毒について

近年、全国的に梅毒の報告患者数が増加傾向にあります。

広島県においても、平成 29 年以降の報告患者数は毎年 100 人を超え平成 30 年には 176 人となりました。

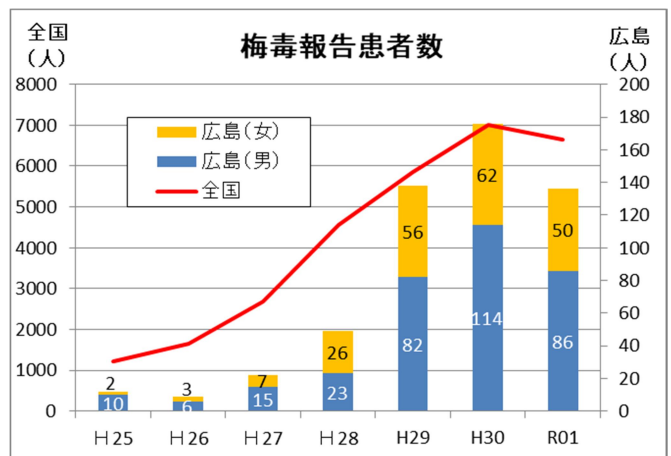
また、令和 2 年も 2 月末現在、県内の報告患者数は 30 人となっています。

梅毒は、主に性的接触によってうつる感染症です。原因は、梅毒トレポネーマという病原菌で、粘膜や皮膚の小さな傷から侵入して感染します。

陰部に潰瘍ができたり、リンパ節の腫れ、全身の発疹等の症状を呈します。進行すると、脳や心臓にも症状が出る場合があります。また梅毒に罹患している方が妊娠すると、早産や死産になったり、胎児に重篤な異常をきたすことがあります。

感染が疑われる症状が見られた場合には、早期に医師の診断、治療を受けましょう。

なお、コンドームの適切な使用によりリスクを減らすことができます。また、一度治っても再び感染することがあるので、パートナーと一緒に検査・治療しましょう。



詳しい情報は、厚生労働省のホームページをご覧ください。



2 疾患別定点情報 【速報値】										
(1) 定点把握(週報)五類感染症						令和2年2月分(令和2年2月3日～令和2年3月1日:4週間分)				
No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均
1	インフルエンザ	2,513	5.49	22.15	↓	10	ヘルパンギーナ	9	0.03	0.02
2	RSウイルス感染症	102	0.36	0.38	↗	11	流行性耳下腺炎	17	0.06	0.31
3	咽頭結膜熱	202	0.71	0.40	→	12	急性出血性結膜炎	0	0.00	0.01
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	609	2.13	2.42	↗	13	流行性角結膜炎	37	0.49	0.53
5	感染性胃腸炎	1,594	5.57	7.46	↘	14	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.01
6	水痘	81	0.28	0.30	↗	15	無菌性髄膜炎	0	0.00	0.01
7	手足口病	18	0.06	0.16	↘	16	マイコプラズマ肺炎	16	0.19	0.16
8	伝染性紅斑	73	0.26	0.26	↘	17	クラミジア肺炎	0	0.00	0.00
9	突発性発しん	74	0.26	0.32	↗	18	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.00	0.42
(2) 定点把握(月報)五類感染症						令和2年2月分(2月1日～2月29日)				
No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均
19	性器クラミジア感染症	67	2.91	2.29	↘	23	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	61	2.90	3.71
20	性器ヘルペスウイルス感染症	22	0.96	0.82	↘	24	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	2	0.10	0.31
21	尖圭コンジローマ	13	0.57	0.61	↘	25	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0.00	0.04
22	淋菌感染症	35	1.52	0.72	↘					
※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり)										
※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。										
急増減疾患!!(定点当たり前月比2倍以上増減) ○急増疾患 なし ○急減疾患 インフルエンザ (13.29 → 5.49)						発生記号(前月と比較)				
						急増減	↑	↓	1:2以上の増減	
						増減	↗	↘	1:1.5～2の増減	
						微増減	↗	↘	1:1.1～1.5の増減	
						横ばい	→	ほとんど増減なし		
定点把握対象の五類感染症(週報対象18疾患,月報対象7疾患)について,県内178の定点医療機関からの報告を集計し,作成しています。										
	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計				
対象疾病No.	1	1～11	12, 13	19～22	14～18, 23～25					
定点数	43	72	19	23	21	178				
3 一类・二类・三类・四类感染症及び全数把握五類感染症発生状況 【速報値】										
類別	報告数	疾患名(管轄保健所)								
一类	0	発生なし								
二类	32	結核(32)〔西部保健所(7), 東部保健所(2), 北部保健所(1), 広島市保健所(14), 呉市保健所(1), 福山市保健所(7)〕								
三类	5	腸管出血性大腸菌感染症(5)〔西部保健所(1), 福山市保健所(4)〕								
四类	4	E型肝炎(3)〔広島市保健所(2), 福山市保健所(1)〕, 重症熱性血小板減少症候群(1)〔呉市保健所(1)〕								
五類	52	アメーバ赤痢(1)〔呉市保健所(1)〕, カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(6)〔東部保健所(1), 広島市保健所(4), 福山市保健所(1)〕, 急性脳炎(1)〔広島市保健所(1)〕, 劇症型溶血性レンサ球菌感染症(6)〔広島市保健所(3), 呉市保健所(1), 福山市保健所(2)〕, 侵襲性肺炎球菌感染症(7)〔広島市保健所(4), 福山市保健所(3)〕, 梅毒(14)〔東部保健所(3), 広島市保健所(9), 福山市保健所(2)〕, 百日咳(16)〔西部東保健所(4), 広島市保健所(11), 福山市保健所(1)〕, 風しん(1)〔西部保健所(1)〕								